



復刊81号

はんさま ご判様

たえ 妙の光 ひかり

島流しの日蓮聖人が佐渡を離れる際、警護の役
人に感謝のお手紙と自ら刻まれた印を授けられ、
あのおでの再開を約したとされる『靈山契約の寶
印』。この写しを御開帳する『ご判様』行事（正
式にはお大会）が、今年も4月29日に催されます。
江戸時代からの記録も残っており、その昔は全国
から参詣の信者の列が、妙光寺を目指して延々と
続いたそうです。昭和30年代までは境内には露店
が立ち並び、徒歩で集まる信者のために仮設の風
呂屋までできたと聞きます。往時の面影は薄れま
したが、新緑の下、雅楽を先頭に稚児と輿の行列
が境内を練り歩く風景は、今も変わりません。
今年は寒100日間の荒行を終えた修行僧2人
が水行し、参詣者に家内安全、身体健全等のご祈
禱を行います。お参りください。

行事案内

開創七百年慶讃 身延山大法要

3月16、17日(土、日) 総勢660名です。

春のお彼岸法要

3月20日(水・祭日)

午前10時30分 安穩廟法要

11時 春季彼岸中日法要…本堂

12時 おとき(どなたでも当日受付で
お申込みください)

午後 1時 住職法話…大広間

お彼岸は春秋2回、陽気もよくなり昼夜の時間
が同じになるこの日、心の偏りをなくして仏道の
修行に励みましょうという、古くからの行事です。
お墓参りと、本堂へのお参りにお出かけください。

ご判様 (お大会)

4月29日(月・祭日) 午前8時30分受付開始

鎌倉市・円久寺ご住職の松脇上人が、高座説
教をおつとめされます。時間等の詳細は、別紙の
ご案内をご覧ください、ご都合のよい時間にお
出かけください。




あとがき



「開創700年大法要」の準備で、お寺は多忙を極めております。そこで、今号は“特小号”とし、お報せ中心の内
容にいたしました。7月号からは、従来のページ建てで、開創700年にふさわしい企画を計画中です。妙光寺で仏
縁を結ぶ多くの方に、登場していただく予定です。今年も『妙の光』をよろしく願いいたします。(新倉理恵子)

月例行事

月例信行会

毎月第1日曜日 午前7時～9時頃 会費千円
予約申込不要。法要、ミニ法話
作務、朝粥の朝食、コーヒータイム 

ボランティア

毎月15日午前9時～11時30分、13時～15時
境内の清掃作業等をご都合可能な時間に。
昼食はご持参下さい。

春の研修会休止

700年行事のためお休みとします。次回は秋です。

テレビ放映

開創700年記念番組の県内テレビ放映。
4月27日午前11時～11時30分 BSN新潟放送。

行事報告

大晦日除夜の鐘

寒い日でしたが、200名近い方がお詣りされました。

節分厄払い

2日間で80名の申込みで賑わいました。



角田地区のお講

農閑期の冬の一
日、角田浜の檀徒が
集まりました。お経練
習の後、当番手作りの
昼食をいただき、
話に花が咲きました。



寺の世襲 小川英爾



初の世襲住職

妙光寺は今年で開創700年を迎え、私は53代目の住職にあたりますが、実の親子で代を継いだのは初めてです。父である先代は長岡市の農家の生まれで、子供がいなかった先々代の養子として5歳のとき妙光寺に來ました。

僧侶の結婚が公に認められたのが明治5年で、それまで寺には弟子はいても、妻も子供もいませんでした。先々代が住職として初めて結婚しましたが、子供が生まれなかったそうです。当時数名いた弟子の中でも一番年下の父が住職を継いだので、先輩弟子からいじめられて苦労したと聞きました。

こうして妙光寺の世襲は実体化してきましたが、本来は弟子が継ぐのが今もって建前です。手続きの上でも、子供だからといって自動的に住職を継げるわけではありません。

世襲の問題

4年間勤務してくれた永石上人が、自分の父親の寺を継ぐことになり、3月末で妙光寺を離れます。妙光寺に來たきっかけが父親とのトラブルだったので、解決して戻られるのは何よりです。永石上人なりに葛藤があったことでしょう。

後任探しに苦労しましたが、千葉県A寺の次男である戸田君(24歳)が決まりました。長男は別の道を目指して勉強中とか。彼はまだ修行中の身なので、研修生という立場です。A寺は伝統的な荒行道場を抱える歴史の古いお寺なので、戸田君が父親の後を継ぐにはこの先かなりの修行が必要です。耐えられなければ、僧侶になれてもA寺の住職には就けません。

こうして血縁でない形で守られてきたことで、日本のお寺は何百年と長く続いて來たのだと思います。一方で、歴史的に代々世襲されて來たのが主に浄土真宗のお寺です。しかし日本の宗派の割合から言えば、建前とはいえ世襲でない寺の方が多数です。

世襲の良さもありますが、寺の後継者には家の職業を継ぐといった感覚が一部にあつて、寺は公の存在であることを忘れがちです。歴史のあるお寺を維持していくのはとても大変なことです。家業を継ぐという安易な気持ちでは務まりません。

妙光寺の場合

幸いにして？私は娘ばかりで、男の子がいません。そこで後継者となる弟子を育て、60歳で引退すると言ってきました。今いる弟子の鎌田上人は、秋田で板金業を営む父親の長男です。しかし彼は前々か

ら妙光寺の執事長に徹すると言います。これはこれで尊重したいと思います。

そんななかで、昨年9月にとうとう60歳の還暦を迎えました。しかし力不足で、後継者の決定はなりません。はからずも檀信徒有志に開いていただいた還暦祝いの席上「還暦で引退なんて絶対ダメ。もっと頑張つて」と皆さんから言われ、感無量でした。

その前に家族からも還暦を祝ってもらったのですが、そこでは「娘たちの誰かが婿さんを貰つて妙光寺を継ぐという世襲は考えていない。もし気持ちがあるなら、自分が尼僧になる覚悟でやつて」と話しました。お寺で育ててもらったことを感謝しつつ、妙光寺を離れてすっかり生きていってもらえばいいというのが、偽りのない気持ちです。

ところがしばらくして、28歳になる長女が「私でもできるかしら。以前から興味があつてやりたいんだけど」と言ってきたのです。結果的には世襲になりそうで、私には忸怩たる思いがあります。

そこで長女は、まずは私らが仲人をさせていただいた鎌倉市円久寺のご住職の弟子として、1月末に同寺で得度させていただき、尼僧の道を歩き始めました。一人前の尼僧になるには、少なくともこれから2〜3年はかかりそうです。

角田山妙光寺インフォメーション

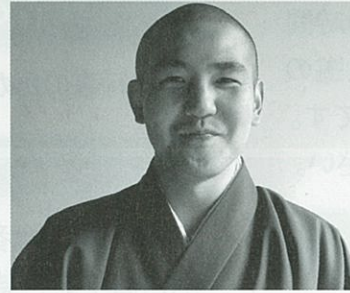
ご判様 4月29日(月)祭日

4月29日(月・祭日)、地元でも昔から親しまれてきたお祭りの「ご判様」。日蓮聖人の遺されたお手紙と印鑑の写しの御開帳として、文字通り全国からの信者で往時は賑わいました。規模は縮小しましたが、お稚児さんのお出の練りは華やかです。檀徒には日程表と志納袋をお届けします。お申込みは郵送でもかまいません。また、お稚児さんも募集中です。どなたでもご遠慮なくお問い合わせください。



人事異動

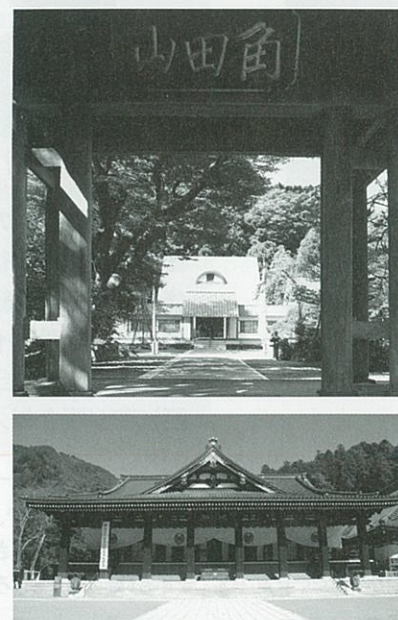
4年間勤務された永石上人が、師父のお寺の後を継ぐため3月末で大分に戻ることになりました。皆様には大変よくしていただき、感謝申し上げます。後任に、千葉県市川市のお寺の次男で戸田君(24歳)が、研修生として4月から入ります。妙光寺では2回お盆のお手伝いの経験もある、好青年です。アメリカに6年間留学していましたが、その分僧侶の修行が不足ですので、しっかり研修してもらいます。宜しくお願いします。



永石上人

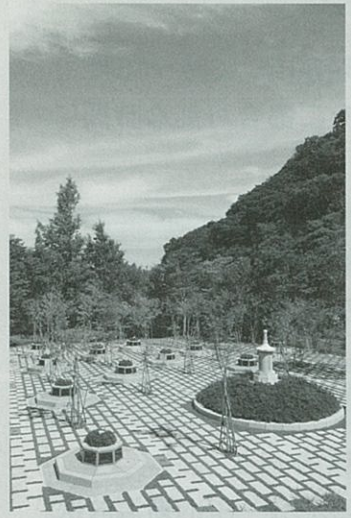
テレビ放送 4月27日(土)

「妙光寺開創七百年慶讃・身延山大法要」と、妙光寺の歴史を紹介したテレビ番組が、県内向けに放送されます。4月27日(土)午前11時から30分、BSN新潟放送。放送後45分程に再編集したDVDを2000円で販売します。お問い合わせください。



安穩廟

「杜の安穩-池の上」が満杯です。引き続き当初計画の104区画を増設するべく、行政の許可申請中。希望者が多く予約受付中です。



送り盆日程

例年8月最終土日の『送り盆』ですが、今年は8月24日(土)です。ご予約ください。

